

1分でピコッ! 最新ウェブ技術 & JavaScriptでLチカ

桑野 雅彦

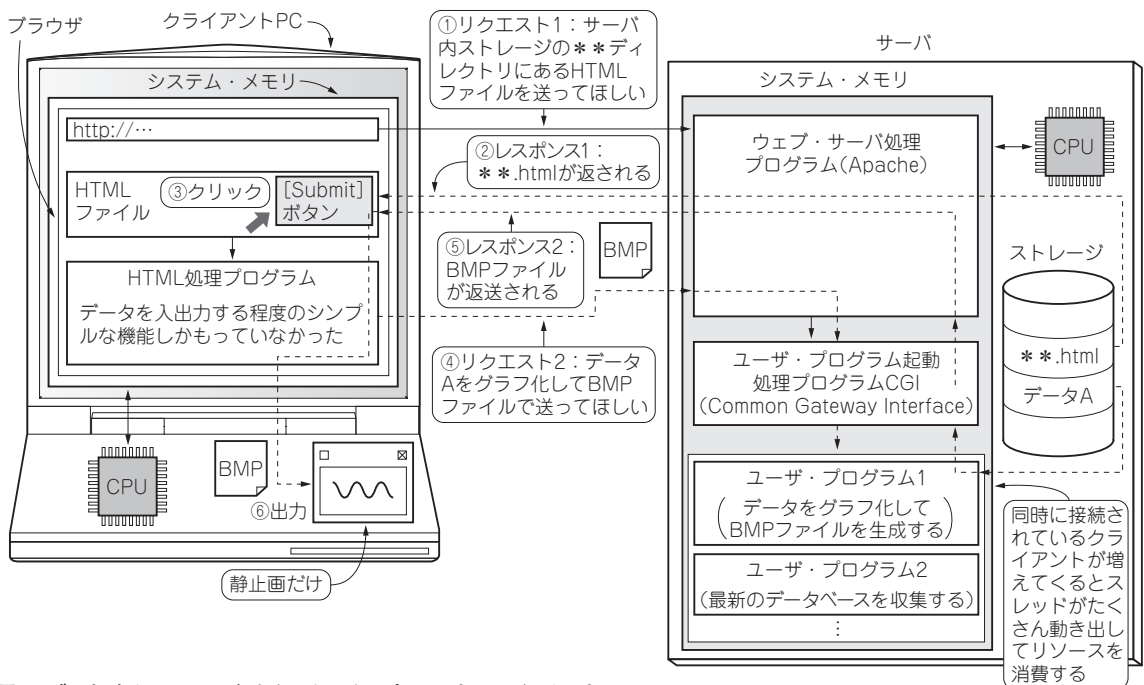


図1 ブラウザがHTMLしか扱えなかったころのパソコンとサーバのやりとり

● BeagleBone Blackのプログラムは JavaScriptで書く

BeagleBone BlackをUSBでパソコンと接続すると、USB接続したLANアダプタと、LANの先にサーバ機が接続されたような状態として見えます。たとえば `http://192.168.7.2` などとすると、ウェブページを開けます。

BeagleBone Blackには、ウェブ・ブラウザをGUIとして利用するオンライン統合開発環境 (IDE) である Cloud9 がプリインストールされています。この上で JavaScript を使った BeagleBone Black を動かすプログラミングが行えます。この JavaScript を実行するインタプリタが、Node.js です。

ブラウザ用プログラミング言語の進化

● 昔…HTMLしかなかったころ

JavaScript というと、「ウェブ・ページを開いたときに、クライアント側のブラウザ上でさまざまな動きを実現するもの」を思い浮かべる方も多いでしょう。

ブラウザがHTMLしか扱えないと、例えばボタンをクリックして結果を表示させるというだけでも、ボタンを押すというアクションごとに、

- 押された情報をサーバに伝える
- サーバ側でイベントを受け取る。必要に応じて CGI (Common Gateway Interface) を呼び出す
- サーバ側で処理実行
- 新しい画面データを構築